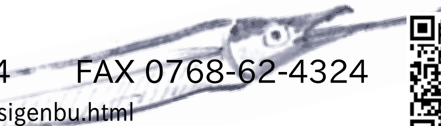
石川県漁海況情報

539号
2024年4月30日発行



石川県水産総合センター　電話 0768-62-1324　FAX 0768-62-4324
ホームページ https://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html
携 帯 電 話 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html

本号の概要

ズワイガニ漁のまとめ（期間：2023年11月～2024年3月）

- 2023年漁期の水揚重量は、ズワイガニ雄は過去5年平均並みで、ズワイガニ雌は過去5年平均を上回りました。
- 2023年漁期の単価は、ズワイガニ雄は過去5年平均並みで、ズワイガニ雌は過去5年平均を下回りました。
- 雌雄合わせた水揚金額は過去5年平均並みでした。

冬期のスルメイカ漁のまとめ（期間：2024年1月～3月）

- 冬期のスルメイカの水揚量は90トンであり、過去5年平均を下回りました。

寒ブリ漁およびフクラギ漁のまとめ

- 寒ブリの水揚量は1995年以降で最も多く、フクラギの水揚量は過去5年平均を上回りました。

日本海沿岸のスルメイカの漁況の見通し（予報期間：5月～7月）

- 石川県沿岸の小型イカ釣りによる水揚量は過去5年平均を下回る見込みです。

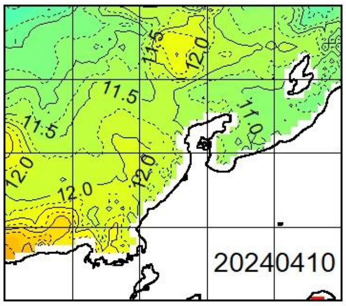
石川県周辺海域の水温（期間：4月6日～10日）

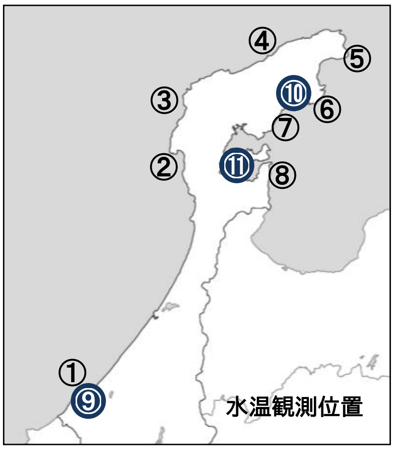
■ **沿岸の海面水温**　4月10日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～12℃台で、過去5年平均との差は－1.0～±0.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温**　今期の水温は11.3～11.5℃で、3月下旬から0.8℃上昇しました。過去5年平均との差は－0.9～－0.1℃でした。

■ **港内の水温**　今期の水温は12.7～14.0℃で、前年同時期との差は－0.7～－0.5℃、過去5年平均との差は－0.4～+0.6℃でした。

石川県周辺の海面水温





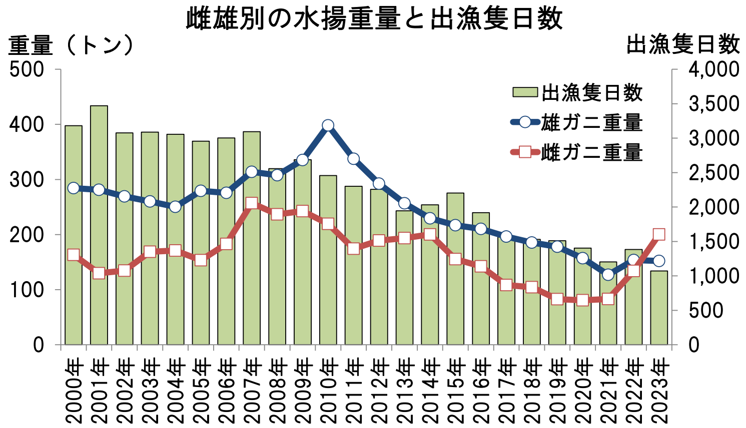
沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）　単位（℃）

観測位置	日間平均 4/6～4/10	前年差	過去5年 平均差
①橋立沿岸	11.4	データなし	－0.9
②富来沿岸	11.3	－1.3	－0.9
③門前沿岸	休止中	データなし	データなし
④曽々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤小泊沿岸	11.4	－0.7	－0.2
⑥小浦沿岸	11.4	－0.7	－0.4
⑦鵜川沿岸	11.3	－0.8	－0.5
⑧岸端沿岸	11.5	－0.6	－0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）　単位（℃）

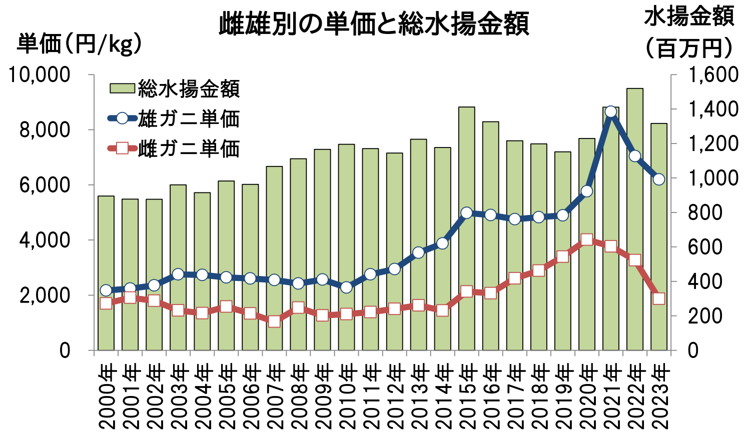
観測位置	日間平均 4/6～4/10	前年差	過去5年 平均差
⑨橋立港	12.7	－0.7	－0.4
⑩宇出津港	休止中	データなし	データなし
⑪石崎港	14.0	－0.5	＋0.6

ズワイガニ漁のまとめ（期間：2023年11月～2024年3月）



■　2023年漁期（昨年11月～今年3月）の底びき網漁船による県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鵜飼港）におけるズワイガニの水揚状況は以下のとおりでした。

■　ズワイガニ雄（加能ガニ）の水揚量は152トンで、前年（154トン）の99%、過去5年平均（160トン）の95%でした。ズワイガニ雌（香箱ガニ）の水揚量は200トンで、前年（134トン）の149%、過去5年平均（97トン）の206%でした。



■　出漁隻日あたりの水揚量は、ズワイガニ雄が142キログラムで、過去5年平均（113キログラム）の125%、ズワイガニ雌が275キログラムで、過去5年平均（126キログラム）の218%でした。

■　ズワイガニ雄のキログラム単価は6,197円で、前年（7,042円）を下回ったものの過去5年平均（6,236円）並みとなりました。ズワイガニ雌の単価は1,871円で、前年（3,269円）及び過去5年平均（3,468円）を下回りました。

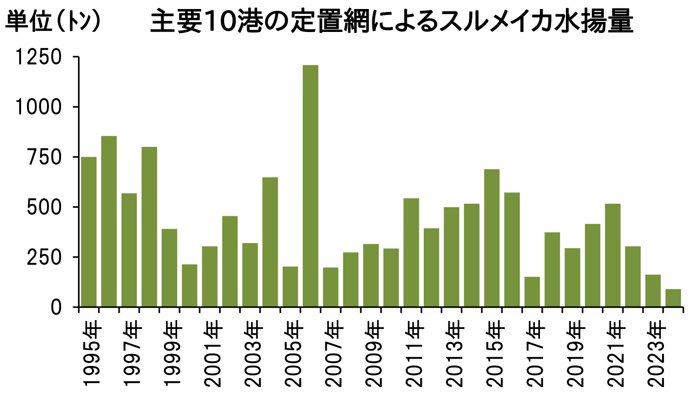
■　総水揚金額は13.2億円であり、前年（15.2億円）を下回り、過去5年平均（13.0億円）並みでした。

■　本県の底びき網漁業者は持続的な水揚げに向け、ズワイガニ雌の漁期短縮やミズガニの自主禁漁など資源管理に積極的に取り組んでいます。

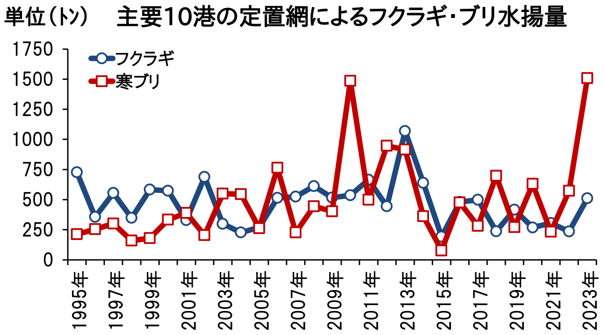
冬期のスルメイカ漁のまとめ（期間：2024年1月～3月）

■　今期の定置網による水揚量は90トンで、前年（162トン）および過去5年平均（338トン）を下回りました。漁期を通じて水揚げが振るわず、1995年以降で最も少ない水揚げでした。

■　漁海況情報535号では、今期の水揚量は前年を上回り、過去5年平均並みになると予想していましたが、予想を下回る水揚量でした。



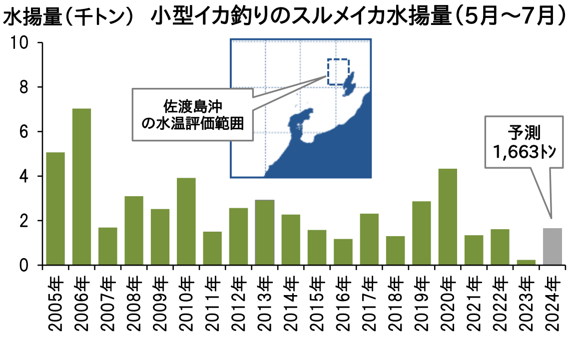
寒ブリ漁およびフクラギ漁のまとめ



■　今期（2023年11月～2024年3月）の定置網による寒ブリの水揚量は1,508トンで、前年（573トン）および過去10年平均（451トン）を上回り、1995年以降で最も多くなりました。今期は12月初旬から豊漁が続き、2月初旬までまとまった水揚げがみられました。漁海況情報533号では、今期の水揚量は545トンで、過去10年平均を上回ると予想しましたが、予想をさらに上回る水揚量でした。好漁になった要因として、日本海北部沿岸の水温が高く、寒ブリが能登半島沿岸に来遊しやすい海況であったことが考えられます。

■　今期（2023年10月～2024年3月）の定置網によるフクラギの水揚量は511トンで、前年（236トン）および過去5年平均（292トン）を上回りました。今期の水揚量は、漁海況情報531号では10～11月は129トン、同534号では12～3月は88トン、合計217トンと予想しましたが、それを上回る水揚量でした。

石川県沿岸のスルメイカ漁況の見通し（予報期間：5月～7月）



■　石川県沿岸の5～7月の小型イカ釣りによるスルメイカの水揚量は海にいるイカの量と水温の影響を受けて増減していると考えられます。5月中旬の50m深水温が佐渡島沖で低いほど、水揚量が多くなる傾向がみられます。これは、春以降の水温上昇とともに能登半島周辺まで北上したスルメイカが佐渡島沖の冷水に進路を阻まれて滞留することで、本県沿岸に漁場が長期間形成されるためと考えられます。

■　海況数値モデルによると、今年5月中旬の佐渡島沖の50m深水温は過去5年平均より低くなると予測されています。また、水産研究・教育機構が昨年実施した孵化幼生の分布量調査によると、今年漁獲対象となるスルメイカの発生量は過去5年平均を下回ったとされています。発生量および水温と水揚量の関係式からは、今期の小型イカ釣りによる水揚量は2022年並みになると予想されました。しかしながら、今期は震災の影響で石川県沿岸で操業する小型イカ釣漁船の隻数が減少すると見込まれており、実際の水揚量はこの予想を下回ることが見込まれます。

石川県主要港の3月の水揚状況

■　**定置網**　マイワシ・サバ・フクラギ・コゾクラは前年を上回り、ブリ・スルメイカは前年を下回りました。

■　**まき網**　サバ主体の水揚げでした。

■　**底びき網・ごち網**　アカガレイ・ニギス・アマエビは前年を下回りました。

■　**刺網・釣り・その他**　フグ類は前年を下回りました。

■ 県内主要10港水揚量（トン）

漁業種類	魚種	3月水揚量			1月-3月累計水揚量		
		本年(2024年)	前年(2023年)	平年(過去5年)	本年(2024年)	前年(2023年)	平年(過去5年)
定置網	まいわし	5651.7	3847.8	3143.4	8949.6	8203.2	4679.6
	さば	289.5	206.3	217.6	500.5	949.1	534.3
	ぶり	128.1	184.5	84.4	795.1	303.2	258.0
	するめいか	34.1	92.7	108.0	89.8	162.2	338.4
	ふくらぎ・こぞくら	27.3	1.6	1.8	294.9	114.3	67.7
	しいら	12.6	0.0	0.0	13.4	3.2	2.4
	かたくちいわし	11.2	20.3	108.5	70.9	116.8	1002.4
	かわはぎ(ｳﾏﾂﾞﾗ)	10.6	28.6	14.1	28.7	65.6	98.4
	まあじ	9.1	18.0	32.4	22.2	61.0	92.9
	そうだがつお	9.0	0.0	0.0	13.0	31.5	41.9
	さわら・さごし	8.9	10.7	4.9	32.6	36.3	35.7
	めじ(ｸﾛﾏｸﾞﾛ)	7.7	30.9	14.5	15.6	63.0	48.2
	その他	26.1	42.5	74.6	86.5	144.5	288.2
	合 計	6225.9	4483.8	3804.3	10912.7	10254.0	7488.1
まき網	さば	245.9	146.5	321.9	298.3	213.4	525.8
	まいわし	36.8	517.5	103.5	60.0	544.0	109.7
	ふぐ類	4.3	0.0	0.0	11.2	1.2	0.5
	その他	0.9	24.8	164.7	1.0	183.4	354.4
	合 計	287.9	688.8	590.2	370.5	941.9	990.5
底びき網 ごち網	あかがれい	78.4	164.4	98.0	222.3	314.9	261.5
	にぎす	62.9	87.3	78.0	114.0	176.8	160.6
	あまえび	13.7	49.6	41.8	83.5	159.1	147.2
	ずわいがに雄(加能ｶﾞﾆ)	9.3	16.5	12.8	43.0	59.5	52.5
	そうはち	7.9	27.4	17.2	15.4	53.2	38.5
	なまこ	7.1	20.9	6.9	8.3	21.2	7.4
	ふぐ類	5.5	57.0	51.7	7.1	67.7	73.5
	みずうお(ﾉﾛｹﾞﾝｹﾞ)	5.4	12.0	10.2	13.1	20.8	22.2
	はたはた	4.4	9.6	30.2	8.2	11.6	44.4
	がすえび(ﾄｹﾞｻﾞｺｴﾋﾞ他)	3.9	11.6	8.8	19.7	31.9	30.6
	その他	29.9	147.7	139.1	69.9	267.6	271.9
	合 計	228.4	603.9	494.6	604.6	1184.3	1110.4
刺網・釣 小型いか釣 その他	なまこ	7.0	11.1	11.2	11.7	29.2	30.8
	まだら	6.6	4.1	5.1	21.5	56.4	84.5
	わかめ	4.5	3.4	3.6	4.6	4.5	5.0
	ふぐ類	4.3	136.1	51.1	5.8	172.8	67.2
	あまえび	2.7	2.6	9.3	5.1	11.3	31.2
	さわら・さごし	2.0	0.9	1.3	2.2	2.2	4.1
	ほうぼう	1.5	1.7	1.5	1.7	1.8	1.8
	ばいがい	1.2	1.5	2.5	2.0	3.6	4.6
	まだこ	1.2	3.5	3.2	2.2	12.7	11.5
	ひらめ	1.1	2.1	1.6	1.1	2.3	2.1
	あかがれい	1.1	1.2	1.5	4.1	5.6	6.0
	さざえ	0.8	5.5	2.7	1.5	8.6	5.5
	その他	10.9	116.8	145.7	18.5	214.0	308.1
	合 計	44.9	290.5	240.5	82.0	525.0	562.3
全漁業種類	総 計	6787.2	6067.0	5129.5	11969.8	12905.2	10151.4

※主要10港：橋立・金沢・西海・輪島・蛸島・鵜飼・松波・宇出津・七尾地区
※本年3月の漁業種類別の水揚量上位魚種を対象として集計した値
※ベニズワイガニは一部未集計のため除外した